

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	眼裂および口裂周囲の表情筋の層構造と表情・加齢変化との関係
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2017～2024 年度新潟大学医学部、歯学部、大学院医歯学総合研究科における人体解剖学実習で用いた篤志献体のご遺体
③概要	顔面の筋は、主に顔面骨格から起こり直接皮膚に付着する小さな皮筋で、表情筋と呼ばれます。表情筋の本来の機能は、眼・鼻・耳・口などの顔面の開口部を閉じたり上げたりすることで、ヒトでは、特に眼や口の周囲が表情に影響与えていると考えられます。ほとんどの表情筋は境界が不明瞭な上、眼や口の表情形成には多くの筋が関わっています。特に口唇の形は口周囲の筋の複雑な走行・動きで調節されているため、口周囲の筋は特に発達しています。眼や口周囲の表情筋は表情形成に重要な役割を担っていると考えられますが、これらの筋間の協調関係、その個体差・加齢変化は十分に明らかになっていません。今回私たちは、これら表情筋の層構造と表情や加齢変化、炎症の拡大・波及との関連を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。
④申請番号	2019-0081
⑤研究の目的・意義	表情筋の層構造と表情や加齢変化、炎症の拡大・波及との関連を明らかにすることにより、表情形成機構の解明やアンチエイジング等の美容・審美研究、臨床診断に貢献できると考えられます。
⑥研究期間	倫理委員会承認日から 2025 年 3 月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	遺体引取情報は解剖学教室で保管し、性別、年齢、年度以外の個人情報は扱いません。過去の臨床 CT データについても、性別、年齢以外の情報は扱いません。得られた情報の集積は暗号化ないしパスワードロックを行ったファイルで行い、学会や論文で公表する場合も含めて、ご遺体のプライバシーに関する内容は一切外部に公表しません。
⑧利用または提供する情報の項目	性別、年齢、年度、個人を特定できない表情筋の層構造と皮膚の皺との関係を示す解剖所見および過去の臨床 CT データ
⑨利用の範囲	新潟大学歯学部解剖学実習室 研究責任者：医歯学系（歯）大島勇人
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学・医歯学系（歯）・教授・大島勇人
⑪お問い合わせ先	TEL: 025-227-2812 E-mail: histoman@dent.niigata-u.ac.jp